

TS-M2M-0009v1.5.1

oneM2M 技術仕様書 –サービス層 API 仕様(HTTP 用)–
oneM2M Technical Specification –HTTP Protocol Binding–

サマリ :

HTTP(Hypertext Transfer Protocol)プロトコルとの対応についての技術仕様

目次 :

1 章 所掌範囲 (目的)

本仕様書は oneM2M 準拠システムで用いられる通信プロトコルで HTTP に関するプロトコルを記述している。

本仕様書の範囲は以下を含んでいる

- oneM2M プロトコルプリミティブと HTTP 手法との対応
- oneM2M レスポンスステータスコード(成功/不成功)と HTTP レスポンスコードとの対応
- oneM2M リソースと HTTP リソースの対応

本仕様書のデータタイプはサービス層 API 仕様書(共通部)に基づいている。

2 章 引用文献

3 章 略語

4 章 表記法

5 章 全体概要

本章では oneM2M のプリミティブパラメータが HTTP のリクエスト/応答レスポンスメッセージにマッピングできることを記述している。

6 章 HTTP メッセージマッピング

本章では HTTP のメッセージの以下の事項について記述している。

- リクエストラインでのパラメータマッピング
- ステータスライン
- ヘッダー項目
- メッセージ本文
- メッセージルーティング

7 章 セキュリティに関する事項

本章ではセキュリティ面から配慮すべき事項について記述している。

付則 A (情報) 手続きの例

本付則は<コンテナ>リソースの生成手続きを例として記述している。

付則 B (情報) WebSocket

本付則は WebSocket を使用した通知について記述している。

Summary:

The present document will cover the protocol specific part of communication protocol used by oneM2M compliant systems as RESTful HTTP binding.

The scope of this specification is (not limited to as shown below):

- Binding oneM2M Protocol primitives to HTTP method
- Binding oneM2M response status codes to (successful/unsuccessful) HTTP response codes
- Binding oneM2M RESTful resources to HTTP resources